



---

# 今後の進め方について

---

環境省

令和4年10月17日

第2回 環境と調和した CCS 事業のあり方に関する検討会

## 今後の進め方について

- 前回検討会では、概ね事務局の示す主な論点に沿って御議論いただいたところ。
- 今回以降、以下のとおり主な論点ごとに深掘りする形で進めることとしたい。
- 特に事業規制のあり方については、事業者責任の明確化とも関係するため、2回に渡って検討することとしたい。

### 環境と調和したCCS事業のあり方に関する検討会

- ◆ **10月17日 第2回検討会**  
**事業規制のあり方①**
- ◆ **11月 第3回検討会**  
**事業規制のあり方②、事業者責任の明確化**
- ◆ **11月 第4回検討会**  
**CO2輸出**
- ◆ **(12月 第5回検討会)**  
**とりまとめ** ※書面開催の可能性あり

### 【参考】CCS事業・国内法検討WG

- ◆ 10月7日 第2回WG  
CCS事業に関する法的枠組み、EOR・EGRの法的枠組み、CO2の法的性質
- ◆ 11月8日 第3回WG  
「貯留事業権」の物権化、事業規制等
- ◆ 12月2日 第4回WG  
CCS事業者の損害賠償責任、保安責任、監督体制、CO2の輸出

**12月20日 長期ロードマップ検討会  
とりまとめ【P】**

※今後の議論の方向性次第で変更の可能性あり。

※2023年1月以降については、審議会等で更に検討を深め、法整備に向けた具体的な検討を進める。

## 第2回CCS事業・国内法検討WGの状況

1. 日時：2022年10月7日（金）10時00分～12時00分
2. 会議形式：オンライン開催
3. 議事次第
  - (1) 開会
  - (2) 議事
    1. 第1回WGの振り返りと今後のWGでの議論の進め方
    2. CCS事業に関する法的枠組み
    3. EOR・EGRの法的枠組み
    4. CO<sub>2</sub>の法的性質
    5. 質疑応答
  - (3) 閉会

### 〔配布資料〕

- 資料1. 議事次第
- 資料2. 委員名簿
- 資料3. 第1回WGの振り返りと今後のWGでの議論の進め方（資源エネルギー庁）
- 資料4-1. CCUSに関する緊急提言（石油鉱業連盟・石油連盟・電気事業連合会・天然ガス鉱業会・日本ガス協会）
- 資料4-2. 事業法の枠組みについて（西村あさひ法律事務所）
- 資料4-3. CCUS事業に関する法的枠組みに関する基本的考え方（資源エネルギー庁）
- 資料5-1. EOR/EGR技術概要および日本でのCO<sub>2</sub>圧入事例（JOGMEC）
- 資料5-2. EOR等に適用される環境規制の状況（西村あさひ法律事務所）
- 資料5-3. EOR、EGRと鉱業法・鉱山保安法、「CCS実証事業の安全な実施にあたって」について（資源エネルギー庁）
- 資料5-4. 「CCS実証事業の安全な実施にあたって（平成21年8月）」（資源エネルギー庁）
- 資料6-1. 二酸化炭素の法的性質（西村あさひ法律事務所）
- 資料6-2. 炭酸について（岩谷産業株式会社）
- 資料6-3. 合成燃料の実用化・商用化に向けた挑戦（石油連盟）
- 資料6-4. 都市ガス業界のメタネーションの取組み（日本ガス協会）
- 資料6-5. CCUS事業における二酸化炭素の法的性質について（資源エネルギー庁）

### ○資料URL

[https://www.meti.go.jp/shingikai/energy\\_environment/ccs\\_choki\\_roadmap/kokunaiho\\_kento/002.html](https://www.meti.go.jp/shingikai/energy_environment/ccs_choki_roadmap/kokunaiho_kento/002.html)